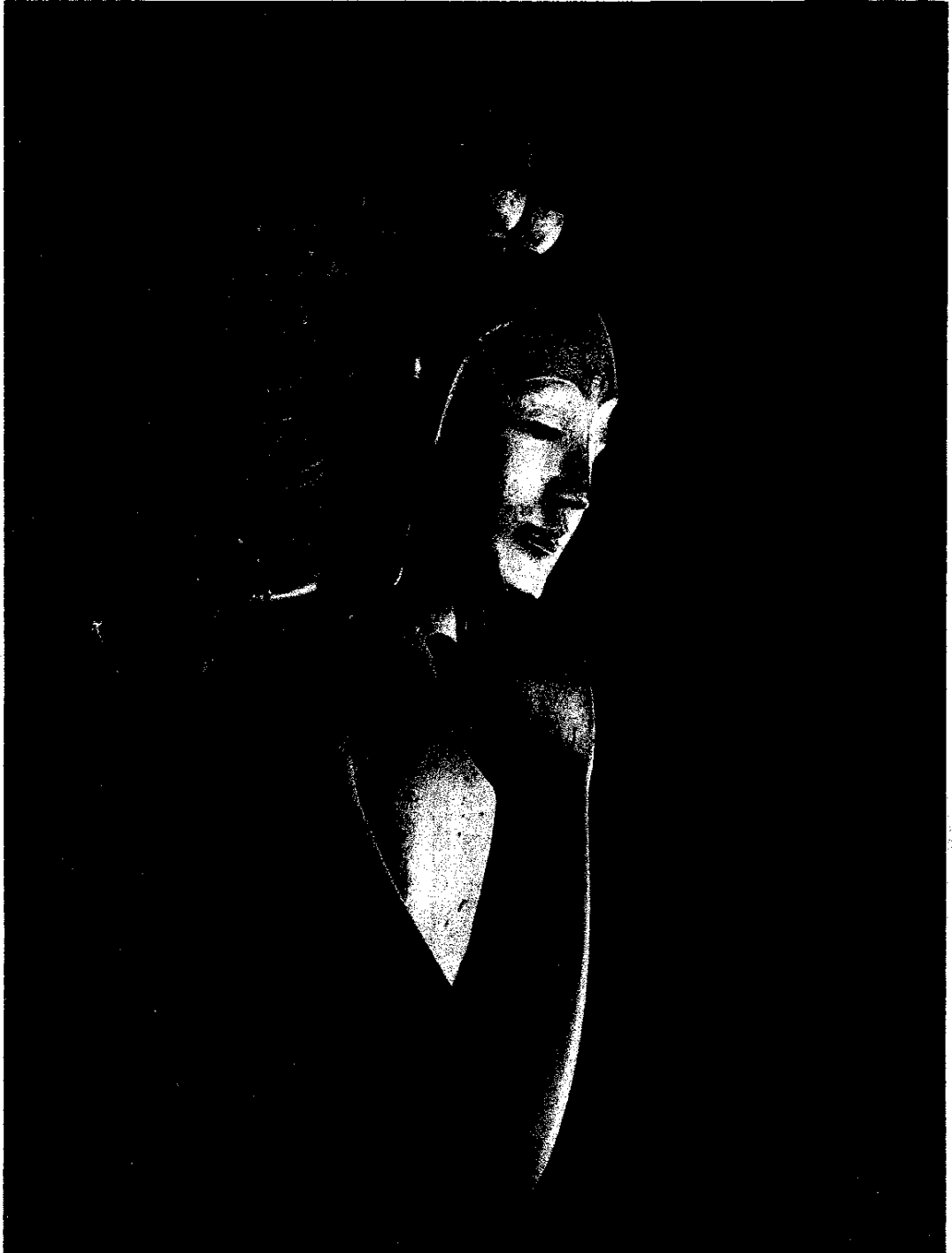


西別院だより

謹
賀
新
年



弥勒菩薩像 国宝・中宮寺蔵

慈氏菩薩とも呼ばれ、五十六億七千万年後にこの世に下生して仏となる。釈尊が予言された未来仏。現在は兜率天にて説法していられるといわれる。釈尊の次に世に出て仏と成られるから補処の弥勒とも呼ぶ。

元旦会

1月1日 午前6時30分より おつとめ・法話・ご流盃。

月忌(12月29日より1月5日まで) お休みしますので、ご了承下さい。

家庭をお念仏に

輪番 山田博道



新年のご挨拶「明けましておめでとございます」と、すると相手からも、「明けましておめでとございます」と、同じ言葉が返ってきます。学校の入学式で「ご入学おめでとございます」とお祝辞を云えば、「有難うございます」と違う言葉が返ってきます。

ところで返って来る言葉が違うという事は、このおめでとの中の「め」を漢字にしたときは、当然違うはずだと思い、辞書を調べてみますと、花をめでるときの愛、草木のめがもえ出ずるときの芽、達磨さんに晴を入れて目が開いた時の目などがあります。正月は貴方も私もいま迎えた新年を、共にめでる立場から云えば「愛」が一番親しいと云えましょう。

ところで「広辞苑」のおめでと

の欄には、「お芽出度う、お目出度う」とありますので、先程の字訓にしたがって、この二字を心に窺ってみたいと思います。

まず芽出たいの芽の方の方は、寒い冬の間、枯木同様に見えていた樹木の枝が、やがて春の訪れと共に、いつしか芽を吹いて、そこに生き生きとした生命の躍動を感じる。その喜びを率直に表明したものが、この言葉だと思われま

す。生命が永遠に躍動する姿こそ、生きとし生けるものの心から願って止まないものであり、この願いの満たされることこそ、永遠の生命を願う無上の喜びに他なりません。

次にお目出たいと、目が開いたことを喜ぶのは、私の眼鏡でしか相手を見ることをしない私に、いま智慧の目を開いて物事の真実の相を教えて頂くこと、そこにこそ争いを越えた幸福の原点があり、何より尊いことと云わざるを得ません。

人間が真に願うもの、それは究極的には、永遠に躍動する生命と、自我の眼鏡をはずして物事があるがままに見る智慧の働き、そこにこそ真の幸福があるということ、この新年の祝詞が教えてくれているのだと味わってみれば、この「明けましておめでとございます」という言葉こそ、何と素晴らしい言葉ではないでしょうか。人間の理想が、永遠の生命、無限の智慧であるならば、実はみ仏こそ、人間の最高の理想像でなくてはならないということになるのです。仏さまとは、永遠の生命である無量寿と、無限の智慧である無量光とを体得された方であると同時に、迷える私の上に常に働いて下さって、智慧の目を開かせ、永遠の生命を与えずには止まないと働き続けていて下さっているのです。

親鸞聖人が「正信偈」に、「無量寿如来に帰命し、不可思議光に南無し奉る」と述べられているのは、正しくその働き、慈悲に抱きとられた喜びを表明された感激の雄叫びであったと思うのです。

本年も間もなく、聖人の御正意をお迎えますが、私たちはみ仏の智慧と寿命を身証する真実信心の行者となつて、家庭をお念仏に、この新年を、この一年を心からめでたい年にしたいものです。

合掌

平成四年度寄贈者

- 内陣輪灯踏台 二個
 - 外陣用踏台 四個
 - 中屋 徳濃様
 - 祖師前・ホール宮殿隅瓔珞
 - ガスコンロ 大・小 二個
 - 真田 テル様
 - ガス台
 - 祖師前・ホール宮殿・新納骨堂
 - 宮殿隅瓔珞 高橋 米蔵様
 - 本堂玄関幕 一張 仏教婦人会様
 - 会議用テーブル 十脚
 - 仏教壮年会様
 - 提灯 二対 小樽別院十九日講様
 - メモ台付椅子 十脚
 - 大門美智子様
 - 液晶ビデオプロジェクト 一台
 - 宮本 英子様
 - 色衣六領・黒衣八領
 - 三木スギ子様
 - 銅像雨覆い 橋本福与子様
 - 冷蔵庫 一台 西森キミ子様
- 大切につかわせて頂きます。ありがとうございました。

1993年 年回表(平成5年度)

1	周忌	平成4年亡
3	回忌	平成3年亡
7	回忌	昭和62年亡
13	回忌	昭和56年亡
17	回忌	昭和52年亡
23	回忌	昭和46年亡
27	回忌	昭和42年亡
33	回忌	昭和36年亡
50	回忌	昭和19年亡

電話で聞こう 3分法話

小樽別院デレフォン法話

毎日の心のやすらぎを 3分間

TEL 27-1416

24時間

平成四年度百日参拜達成者

(平成四年五月一日八月八日、アイウエオ順)

百日連続参拜達成者
(敬称略)
(奮動者)

川崎 正吉
木戸 フサ
倉田アヤ子
真田 テル
長谷川ユキ
平位 京子
三井 タミ
南出 一

百日参拜達成者
(敬称略)

悦永アサエ
加藤 福恵
佐野 清一
佐々木アキ
佐野 スエ
清水 和子
鳴田アイ子
坪田 節子
長谷部和子
堀川 トシ
宮本 みい
三浦 幸子
見楚谷光子

我が家のお仏壇(二)

お荘厳について①

浄土真宗の根本聖典である「浄土三部経」の中の一つに「仏説阿彌陀経」というお経があります。このお経には様々にかざられたお浄土の相がかかれていますが、このかざりのことを仏教では「お荘厳」といい、また仏壇などのおかざりのことも指します。今回はこの仏壇のお荘厳について書いてみようと思います。お仏壇は仏様が本来いらっしゃ

るお浄土の相を模して作られています。たとえば御本尊の仏様をおさめている所を宮殿といい、その台座の部分を須弥壇といいます。古来仏教では、世界の中心に須弥山という高い山があり、その上に天界、そのまた上に仏様のお住まいになっておられるお浄土があると考えられていました。須弥壇はこの須弥山をかたどったものです。このようにお仏壇は私達が仏様のお浄土を想像しやすいように作られているのです。お仏壇のおかざり、お荘厳も、このようにお浄土

を模して行なわれています。お荘厳の基本は、灯、香、花の三種ですが、それぞれ「仏の知恵の光」「浄土のかぐわしい香り」「浄土のすばらしい相」を表します。これを右から蠟燭立、香炉、花瓶という仏具をならべておかざります。この基本的なお荘厳を三具足といいます。また蠟燭立、花瓶を一對ずつにして五具足としてかざる場合もあります。(つづく)

別院年末年始の行事と催し

◎除夜会 十二月三十一日 午後三時

◎除夜の鐘 午後十一時五十分

◎元旦会 一月一日午前六時三十分

◎御正忌法要 一月十四日十六日 午後一時三十分

◎別院新年交礼会

一、とき 一月十六日午後五時
一、会場 別院会館ホール
一、会費 二千円
一、切 一月十日までに別院へ

電話で申込下さい。

☎二二一〇七四四

◎説教所新年交礼会

◎緑説教所 無量講 一月二十二日十二時

◎若竹説教所 彰心会 二月中旬頃

◎奥沢説教所 樹心会 一月一日午後二時

◎新光説教所 唯信講 一月十日十二時

◎別院一月常例法座

前期常例法座 九日、十一日迄
本願寺派布教使 山崎 善成師
後期常例法座
本願寺派布教使 芳滝 智仁師
本願寺布教使

謹賀新年

本願寺小樽別院

輪番 山田 博道

副輪番 高柳 広章

若竹説教所主任

新光保育園々長

新光説教所主任

若竹保育所々長

奥沢説教所主任

緑説教所主任

本願寺派布教使

書記補 江崎 夕香

用務員 鷲頭千津子

雇員 吉川 孝子

保育協会書記 関川 澄子

緑説教所・若竹説教所

奥沢説教所・新光説教所

小樽幼稚園

杉山 成子

今野麻紀子

石栗 一枝

櫻井 真里

真鍋 智子

真光 正一

前田 知子

若竹保育所

青柳 順子

高木 智美

森合 幸子

金山 和枝

松田 麻子

川口美由紀

関谷 育子

新光保育園

小田桐 景子

栗原 恭子

若杉 倫子

小林いづみ

小笠原 典子

野上 勝子

島本 重作

坂上 大等

青木 宗成

谷 教昭

岡本 広由

村上 隆昌

村上 隆昌

製造直販の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り

TEL(0134)23-1309代

全葬儀 全霊協 加盟店

小樽典礼株

TEL27-1801

稲穂3-4-1

生花を使って花祭壇

札樽葬祭株

TEL 34-0444
ワカマツ1-9-10

花の店 カトリア(有)

TEL 23-6487
奥沢1-17-3

葬儀

株式会社 博禮社

〒047 小樽市稲穂1丁目10番1号(高大通り十字街高南角)

電話(代表) 23-0246番

■ 24時間営業 ■

過去にしばられず、未来にとらわれず、今を生きる。

ご案内

小樽別院 ☎0134-22-0744

お晨朝 毎朝6時30分

常例布教

毎月7日-11日 巡回布教使
13日-16日 //

同事食 毎月8日
12時30分より

仏教青年会

毎月2,3回開催 午後6時より

仏教婦人会 毎月27日正午
(おとぎあり)

仏教壮年会 毎月6日午後7時

アソカ会 毎月
16日12時30分

日曜学校

毎月最終日曜日、8時30分

カブ・スカウト

毎月第2・4土曜日 午後2時より

日曜仏教講座

毎月第1・3日曜日 9時30分より

おつとめ教室

第3土曜日 3時~4時
(5月から10月まで)

十九日講

別院 19日正午より

各説教所の案内

- 奥沢説教所
樹心会5日 午後7時より
唯信講10日正午より
- 若竹説教所
彰心会7日午後7時より
- 縁説教所
無量講9日午後6時より
- 新光説教所
法友会13日午後6時より

小樽幼稚園 園児募集中

(定員150名)

- 通園バス運行
- 年間を通じて週1回温水プール遊びをいたします。

— 教育目標 —

すなおで 明るく 元気な子

- 毎朝み仏さまにお参りするしつけと、宗教情操教育を重点としています。
- 明治44年10月15日に開園し、82年の歴史をもつ園です。



別院門信徒の幼児は小樽幼稚園に!!

お問い合わせは下記に電話して下さい。

若松1丁目4番17号 ●小樽幼稚園 TEL 0134-22-6536
●小樽別院 TEL 0134-22-0744

園児募集

若竹保育所 (定員45名)

若竹町5番2号(若竹湯ウラ)
TEL 22-6539

- 未満児 1歳児~2歳児
- 以上児 3歳児~5歳児

新光保育園 (定員80名)

新光1丁目33番7号(自動車学校向小路)
TEL 54-8145

- 乳幼児 0歳児保育
- 未満児 1歳児~2歳児
- 以上児 3歳児~5歳児



※お問い合わせは、各保育園(所)へ
※お申し込みは、市役所児童家庭課へ
(32-4111番)